

活動の概況

霞ヶ浦では平成 2 1 年から 2 2 年にかけて大きな変化が生じていました。

まずワカサギが前年につづき豊漁で、資源が復活しつつあるらしいという喜ばしい現象がみられた点です。7 月下旬からは漁港に活気がみなぎり、1 0 月からは湖岸一帯がワカサギ釣りの釣り人で賑わうという状態が続きました。スーパー等の店先にもワカサギが並ぶようになりました。

もう一つの変化は水質にあらわれました。COD の上昇です。平成 1 5 年頃から見られていた現象でしたが、2009 年度全国水質測定結果で北浦が 10mg/L で全国一位、霞ヶ浦が 9.3 mg/L で第 3 位となったことが環境省によって発表されました。

このような状況を考えながら各種事業を実施しました。

「生き物アカデミー講座」と「霞ヶ浦定期連続講座」については、計画通り毎月一回開催しましたが、3 月 1 1 日には未曾有の東日本大震災が発生し 3 月の「生き物アカデミー講座」と「霞ヶ浦定期連続講座」を翌月の 4 月 1 6, 1 7 日に延期せざるを得ませんでした。

当団体の基本事業である環境教育、環境教育指導者養成講座については、参加者の抱える環境問題具体例を取り上げ、解決方法を参加体験型手法で学習し合いました。参加者の中には、修得した手法による問題解決の行動計画を作成した団体もありましたが、震災の影響で見直しを迫られています。

今年度新しく行った事業としては県外の団体との交流をあげることができます。

それぞれの事業について以下に報告します。

1 生き物アカデミー

毎月一回、小学生を対象に霞ヶ浦湖岸で観察会等を行いました。各回の内容は以下にとおりです。また、開催時には毎回、霞ヶ浦湖岸に設置した定置網で魚類種組成の調査を行いました。

- 4 月 1 8 日 霞ヶ浦に流入する川でフナの産卵調査
- 5 月 1 6 日 ワカサギ稚魚の分布をしらべる
生き物アカデミー公開発表会
- 6 月 2 0 日 湖岸で魚とりをする
- 7 月 1 8 日 湖岸の水質を調べる
- 8 月 2 2 日 釣りで魚の分布を調べる
- 9 月 2 0 日 釣りで魚の分布を調べる (2)
- 1 0 月 1 7 日 霞ヶ浦の水質を調べる
- 1 1 月 2 8 日 霞ヶ浦の水質を調べる (2)
- 1 2 月 2 0 日 霞ヶ浦でワカサギが増えた原因を考える

- 1月17日 湖岸の変化を調べる
- 2月20日 一年間の調査結果をまとめる
- 3月20日 公開討論会（次年度5月に延期）

2 霞ヶ浦定期連続増座

毎月1回霞ヶ浦や環境問題に関する講座を開催した（かっこ内は参加者数）。

第18回	4月18日	常陸国玉造の自然	柳瀬徳蔵・塚越松江（35）
第19回	5月16日	玉里御留川、近世の霞ヶ浦を読み解く	池上和子（41）
第20回	6月20日	江戸時代の水質を復元する	浜田篤信（22）
第21回	7月18日	霞ヶ浦海軍航空隊と山本五十六	木村陽一（16）
第22回	8月22日	史上最大のアオコ発生の謎	浜田篤信（24）
第23回	9月20日	水資源開発史（4）水の科学館の設置から運営へ	木村陽一（11）
第24回	10月17日	こうして環境問題を解決する	原田泰（10）
第25回	11月28日	涸沼のシジミは、なぜ減り続けるのか	浜田篤信（8）
第26回	12月20日	霞ヶ浦舟運史	大久保裕司（18）
第27回	1月17日	霞ヶ浦水資源開発史（5）湖岸の土地帰属をめぐる	岩波嶺雄（12）
第28回	2月20日	江戸時代後期に霞ヶ浦湖岸に移住した人々（2）	野原小右二（33）

3 調査研究

（1）自然の調査研究

① ヤマトシジミ資源変動機構の解明

利根川、霞ヶ浦、那珂川水系におけるシジミ漁獲量と河川工事の相関関係を検討しシジミ資源の変動機構の一端を明らかにしました。

② 霞ヶ浦の水質研究

実験によって魚類生産過程における湖内物質循環機構を検討し、魚類によるCOD寄与率を算定、湖固有のCOD値を分別して評価する手法を開発しました。この方法で霞ヶ浦のCOD変動を検討し直し、新しい知見を得ました。

③ 霞ヶ浦魚類調査

霞ヶ浦玉造高須地先で張網の漁獲し、その種組成を12回にわたって調査しました。

（2）社会の調査研究

海夫社会の歴史解明研究

前年度に引き続き海夫が築いた津社会の発生について文献を整理するなどして霞ヶ浦社会史研究を開始しました。成果の一部を会報7～9号で紹介しました。

4 会報の発行

海夫通信 7～9号を発行しました。

海夫通信 7 2010.6.10 御留川 近世江戸期の霞ヶ浦を読み解く（講演紹介）、海夫たちの霞ヶ浦（3）、生き物アカデミー研究発表「増えた魚、減った魚」、

海夫通信 8. 2010.10.1. 史上最大のアオコ大発生之谜、海夫たちの霞ヶ浦（4）中世動乱の中の海夫、生き物アカデミー報告・フナの行方を追う。

海夫通信 9. 2011.2.6.平成22年を振り返る、当アカデミーの国際交流、海夫たちの霞ヶ浦（5）鳥名木家文書の海賊をめぐる、涸沼のシジミはなぜ減り続けるのか。

5 その他

（1）千葉県との交流

千葉市での環境教育パネル・ディスカッションへの参加

10月8日千葉市で開催された「川と湖ですてきな！体験を提案する全国大会in千葉～水辺での環境教育～」にパネラーとして参加、生き物アカデミーの活動を紹介しました。

ベトナム研修員の受入れ（ハノイ市下水排水公社職員 3名）

千葉県国際室の要請で海外研修員の霞ヶ浦周辺における現地研修を受け入れ、当団体における環境教育の実態等を紹介し、研修員と討論するなどして研修を行いました。

（2）行方市開発公社主催「霞ヶ浦絵画コンクール」への協力

行方市開発公社主催の霞ヶ浦絵画コンクールの開催や作品の評価・表彰に協力しました。

6 表彰

財団法人霞ヶ浦水質浄化推進振興財団（本田昌也理事長）から「永年に亘り霞ヶ浦と流域河川の水質浄化に全力で取り組まれ地域のリーダーとしてご指導ご助言をなされた」として表彰状および助成金 100,000 円を授与されました。

7 理事会・総会

（1）総会 平成22年5月16日15：30～16：30

開催場所：水の科学館多目的ホール 出席者数10名、表決委任9名 事業報告・会計報告、事業計画および予算について質疑・承認

（2）理事会および協議会

第1回	4月18日15：30～17：00	事業計画、総会他
第2回	6月20日15：30～17：20	助成金申請、環境教育、調査研究
第3回	7月18日16：00～18：00	環境教育講座の内容、
第4回	8月22日16：00～18：00	環境教育、Kフェスタ
第5回	9月18日16：00～17：00	生き物アカデミー運営
第6回	10月17日16：00～17：20	千葉県からの要望への対応、Kフェスタ

第7回	11月28日16:00~17:00	HPの更新、備品購入
第8回	12月20日15:30~16:30	定期連続講座、河川整備基金応募
第9回	1月16日16:00~17:00	総会イベント、会報発行
第10回	2月20日16:00~18:00	総会日程・内容、活動・研究発表 総会、Kフェスタ総括、次期執行体制

平成22年度決算書

特定非営利活動に係る事業

収入の部

費目	予算額(円)	決算額(円)	増減(円)
前年度繰越金	99,477	99,477	0
入会金・会費	150,000	72,000	△ 78,000
事業収入	100,000	0	△ 100,000
寄付金	150,000	240,000	90,000
助成金	500,000	450,000	△ 50,000
その他事業からの繰入	50,000	0	△ 50,000
雑収入	1,000	17	△ 983
合計	1,050,477	861,494	△ 188,983

支出の部

費目	予算額(円)	決算額(円)	増減(円)
事業費	650,000	392,485	△ 257,515
会議費	100,000	4,200	△ 95,800
報償費	150,000	261,400	111,400
消耗品費	200,000	80,275	△ 119,725
印刷費	200,000	46,610	△ 153,390
管理費	400,477	233,762	△ 166,715
旅費	100,000	84,000	△ 16,000
事務費	100,000	87,222	△ 12,778
通信運搬費	100,000	47,540	△ 52,460
会費等	50,000	15,000	△ 35,000
予備費	50,477	0	△ 50,477
合計	1,050,477	626,247	△ 424,230

次年度繰越金	235,247
普通預金	318,704
郵便振替	52,840
未払金	136,297

その他の事業

収入の部			
費 目	予算額(円)	決算額(円)	増 減
事業費	500,000	0	△ 500,000
合計	500,000	0	△ 500,000

支出の部			
費 目	予算額(円)	決算額(円)	増 減
事務費	400,000	0	△ 400,000
非営利活動繰入	50,000	0	△ 50,000
次年度繰越金	50,000	0	△ 50,000
合計	500,000	0	△ 500,000

以上、報告します。

平成23年5月15日
非営利活動法人霞ヶ浦アカデミー
理事長 荒井 一美

報告第3号

平成22年度監査報告

平成22度における会計書類、帳簿、証拠書類および現金、預金を監査した結果、適正に処理されていたことを認めます。

平成23年5月10日

平成 23 年度事業計画(案)

基本方針

前年度は、本年 3 月 11 日のマグニチュード 9 という東日本大地震、それに続く巨大津波、原発事故という史上最悪の災難に見舞われました。霞ヶ浦周辺でも地盤沈下、津波、液状化現象、あるいは原発事故による風評被害が発生し、自然観、価値観、生き方、社会の在り様等について深く反省を迫られることとなりました。当然のことながら、当団体の活動についても同様であります。

まず、第一に、この大きな痛みをともなう貴重な体験をふまえエネルギーや水資源問題、あるいは霞ヶ浦等の生態系との付き合い方についても、考え行動していかなくてはならないと考えています。このような新しい状況をふまえ、本年度の活動を以下のように進めます。

まず、霞ヶ浦をはじめとする湖沼・河川の生態系や生物多様性と人との関係を考え直し、水資源管理等について新しい視点から検討を進めます。

「生き物アカデミー」活動では、魚の採集調査を続けます。魚の調査から水質変動の構造が明らかになってきているので、水質変動のカギをにぎる湖内の物質循環に焦点をあてながら観察会や調査を行います。

「社会の調査研究」では、「海夫たちの霞ヶ浦」の完成をめざして主に江戸時代について調査研究をすすめます。

また、最近大きな動きがみられる霞ヶ浦をめぐる社会情勢についても情報を収集し、上記の調査研究結果と併せて情報を会報やホームページ等で公開します。

環境教育については問題解決型環境教育理論を基本に、地域社会の運営を担う人材を育成するための環境教育講座等を開催します。

理事会等の運営

会員、他団体との連携を重視し、開かれた運営をめざします。理事会等の会議は、オープンとし自由参加とします。調査研究等の各プロジェクト活動は自由参加とし公募して行います。

特定非営利活動に係る事業

- 1 生き物アカデミー講座開催 年 1 2 回実施
霞ヶ浦における観察会を中心に観察会、魚類の採集や調査を行うと同時に、大きく変わりつつある霞ヶ浦の生態系に焦点を当てて調査研究を行います。
- 2 環境教育指導者養成講座開催 年 2 回開催
霞ヶ浦で発生する環境問題の解決に資する参加体験型環境教育講座を開催します。
- 3 霞ヶ浦定期連続講演会 年 1 2 回開催
過去 30 回にわたって毎月一回開催してきた講座を、霞ヶ浦の環境、生物、歴史、開発等に

関係するテーマについて継続実施します。

4 Kフェスタ開催

霞ヶ浦に関する講演会、シンポジウム、魚食普及や各種イベントを開催します。

6 調査研究事業

(1) 新しいテーマへの挑戦

霞ヶ浦との共生について、新たな視点から検討し政策提言等を行います。

(2) 社会の調査研究

霞ヶ浦における津社会の興亡等を中心に、霞ヶ浦流域社会の成り立ち、構造変化について調査を実施します。

(3) 自然の調査研究

大きく変わりつつある霞ヶ浦生態系変動について情報収集を行うと同時に、変動原因を解明します。

(3) 定例調査

霞ヶ浦魚類調査および水質調査を継続して行います。

7 広報事業 会報の発行・ホームページによる情報公開を行います。

その他の事業

調査研究の受託 水質や生物調査、水質調査等について受注します。

平成 2 3 年度予算書案

特定非営利活動

収入の部

費 目	前年度決算額(円)	予算額(円)	増 減(円)
前年度繰越金	235,247	235,247	0
入会金・会費	72,000	150,000	78,000
事業費	0	50,000	50,000
寄付金	240,000	250,000	10,000
助成金	450,000	500,000	50,000
その他事業からの繰入	0	50,000	50,000
雑収	17	1,000	983
合計	997,264	1,236,247	238,983

支出の部

費 目	前年度決算額(円)	予算額(円)	増 減(円)
事業費	392,485	850,000	457,515
会議費	4,200	50,000	45,800
報償費	261,400	400,000	138,600
消耗品費	80,275	250,000	169,725
印刷費	46,610	150,000	103,390
管理費	233,762	386,247	152,485
旅費	84,000	100,000	16,000
事務費	87,222	100,000	12,778
通信運搬費	47,540	80,000	32,460
会費等	15,000	20,000	5,000
予備費	0	86,247	86,247
合計	626,247	1,236,247	610,000

その他の事業に係る事業

収入の部

費 目	前年度決算額(円)	予算額(円)	増 減(円)
事業収入	0	500,000	500,000
合計	0	500,000	500,000

支出の部

費 目	前年度決算額(円)	予算額(円)	増 減(円)
事務費	0	400,000	400,000
非営利活動事業繰入	0	50,000	50,000
次年度繰越金	0	50,000	50,000
合計	0	500,000	500,000

平成23年度特定非営利活動法人

霞ヶ浦アカデミー総会議案書

日時：平成23年5月15日（日）16：00開会

会場：霞ヶ浦ふれあいランド水の科学館多目的ホール

開 会

理事長挨拶

定数確認

議長選任

議事録署名人選任

議 事

報告第1号 平成22年度事業報告

報告第2号 平成22年度会計報告

報告第3号 平成22年度監査報告

質疑および承認

議案第1号 平成23年度事業計画（案）

議案第2号 平成23年度収支予算（案）

質疑および承認

議長解任

閉 会